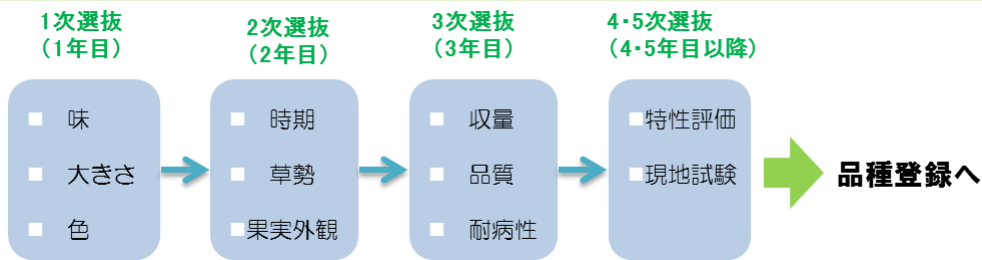


# イチゴ新品種 ‘かおりん※’ の育成

栃木県と言えば「とちおとめ」、佐賀県では「さがほのか」、福岡県なら「あまおう」など多くのイチゴ産地では都道府県独自の品種を育成して、地域ブランド化を図っています。埼玉県では観光・直売のイチゴ経営が増加しており、特徴あるイチゴの地域ブランド品種の要望が高まっています。

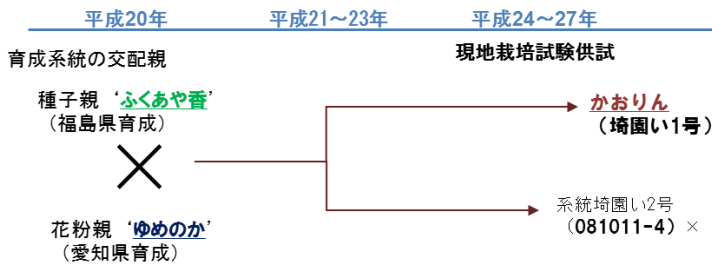
そこで、観光・直売に対応可能な高糖度・優良外観（果形、果皮色、光沢）等の優れた形質を持つ品種を目標として、平成 20 年から交雑・選抜を重ねてきました。その中で目標に沿った ‘かおりん（埼園い1号）’ を育成し、品種登録出願しました。

※ ‘かおりん’ は愛称です。



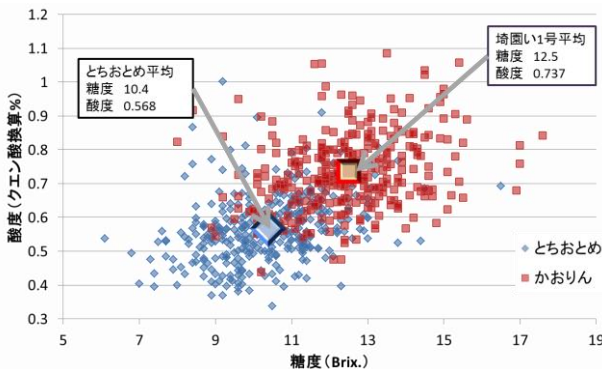
品種の育成手順

甘く ‘大きく’ ‘硬さ’ があり、 ‘たくさん取れる’ ‘病気に強い’ 品種を目標にしました。



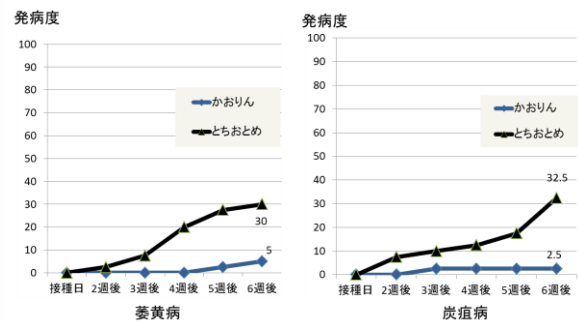
かおりん（埼園い1号）育成経過図

晩生ですが、糖度・酸度が高く濃厚な味が特徴の良食味品種です。萎黄病・炭疽病に耐病性を持ちます。直売向け品種として平成 28 年 8 月に出願公表されました。



糖度・酸度散布図

‘かおりん’ の糖度・酸度は、共に ‘とちおとめ’ を上回っています。



耐病性（萎黄病・炭疽病）

‘とちおとめ’ に比べ、病気に強い品種です。